

令和4年度 第2回 大垣市図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和5年3月3日（金）15時～16時10分
- 2 開催場所 大垣市立図書館3階 会議室
- 3 出席者（委員）
田村弘司会長、福井真由美委員、高木美保委員、
近藤則朗委員、佐久間理恵委員、伊藤千賀子委員
（事務局）
細江教育長、橋本図書館長、大江図書館主幹、
長瀬図書館主幹、早崎図書館主幹
- 4 欠席者（委員）
石橋豊之副会長
（事務局）
寺嶋事務局長
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 議題
 - ① 令和5年度の事業計画（案）について
 - (2) 報告
 - ① 令和5年度図書館の利用に関するアンケート調査の実施について
 - (3) その他

1 開会 15:00

(事務局)

令和4年度 第2回 大垣市図書館協議会を開催する。

2 あいさつ

(教育長)

本日は年度末多忙の中、図書館協議会にご出席いただき、お礼申し上げます。3月13日からマスクの規制緩和が実施されるが、図書館では今年度、コロナ社会における取り組みとして、会場とオンラインの併用によるハイブリッド形式での講座を開催した。

大垣市出身の絵本作家である市川里美さんが3年ぶりに帰国され、昨年10月に読書講演会を開催したところ、多くの方々に参加していただいた。3月17日には文学講座を企画しており、昨年度まで大垣市図書館協議会の委員で、現在、名古屋芸術大学教授の西田拓郎先生に講師を依頼しているが、会場での受講申込みは、受付開始直後すぐに定員に達し、現在はオンラインでの申込受付をしているところである。

今後も、図書館では様々な工夫をしながら事業をしていく所存であるが、来年度の事業計画案を作成した。その中の新規事業として現在放映されている大河ドラマ『どうする家康』に合わせて、特別企画講座や特別企画展示を開催する予定である。

図書館の事業計画案をより良いものにしていくために、委員の皆様方から忌憚のない様々なご意見をいただきたい。

(会長)

教育長がマスクの規制緩和の話がされたが、人と人とのコミュニケーションには、言葉を介さないノンバーバルコミュニケーション（話し方や表情、ジェスチャーなど）が8～9割を占めていると言われており、マスクをしたままだと、そうした大事な部分が欠如してしまう。コロナ禍の3年間は、マスク生活により、学校では教師と生徒のコミュニケーションが難しい状況が続き、お互いの反応がわからない状況が続いてきた。新年度は、お互いの顔が見える環境で学習できるようになるよう切に願っている。

公共図書館は、現在、全国で3316館ある。30年前より1332館増えており、10年前に比べても106館増えている。今後も、公共図書館の担う社会的役割は大きいと思われ、来年度も大垣市図書館の各事業や取り組みがより充実するためにも、図書館協議会の委員の皆様方の忌憚のない意見をいただき、今後の図書館運営に反映していただければ幸いである。

3 議題(1) 令和5年度の事業計画(案)について



(委員)

対面朗読はとても良い取り組みだと思う。対面朗読の対象は視覚障がい者の方だと思うが、どのような形でお知らせし、利用状況はどうなっているのか。

(事務局)

コロナ禍以前は、4名の利用希望者があり、図書館職員がボランティアの方と来館時間を調整し来館してもらっていた。それまでは、小説を取り扱っていたが、3年以上が経過したため、今後、取り扱う内容については、個々に相談して再開したいと考えている。利用者への連絡方法については、申込者の名簿に基づき、電話で連絡をしているが、これからも周知に努めていきたい。

(委員)

「お話の会 大きな樹」は、ブックスタート事業(4か月健康診査を受診された方が対象)に関わらせてもらっているが、とても良い取り組みなので、対象の方全員に浸透すると思う。配本サービスの利用案内(リーフレット)は、配本場所や利用方法などがわかりやすく作られており、これを広く周知してもらうために、ブックスタート時に配付されると利用者拡大につながるのでは。

おひぎでだっこ(乳幼児から3歳児くらいを対象にした絵本の読み聞かせなど)や季節のおはなし会も、人数制限をしながら昨年から再開されたが、こうした行事を求めている方も多と思われるため、今後も継続していただきたい。これらの行事は、図書館のホームページで告知されているが、コロナ禍で休止中と表示されている。また、トップページから深い位置にあり、このサイトにたどり着くまで少し手間がかかるため、見やすくしていただけるとありがたい。

(事務局)

図書館行事も徐々に再開してはいるが、現在は、過渡期で試行的な段階であるため、状況が整い次第、内容を修正したい。ホームページについては、来年度の図書館システムの更新に合わせ、委員の方の声も参考にして、見やすくなるようにリニューアルしたい。

ブックスタート事業の読み聞かせは、令和4年度に再開した。図書館において、今年度は午後に実施してきたが、午後だと乳児のお昼寝の時間と重なり、参加しにくいとの声があったため、来年度からは午前実施する。

(委員)

子ども向けの読み聞かせは充実しているが、大人向けの朗読会のようなものもあればいいと思う。

前回の図書館協議会で、和式の女子トイレ内のフック取付位置が高い位置にあるため、人によっては、荷物を掛けられず不便なため改善してほしいと提言したことに対し、低い位置でも掛けられるフックを早急に設置してもらったことに感謝したい。職員のアイデアで、特別な工事もせず、利用者の利便性向上のための簡単な解決方法があるのだなと感心した。その後、図書館以外の施設を利用したところ、こちらはフックが高い位置のまま使いづらい状況のままだったため、足がつりそうになった。こうしたことから、図書館だけの改修にとどまらず、他の公共施設でも同様の対応を広げていただけるとありがたい。

(会長)

施設管理者にこうした実状を伝えるためにも、やはり市民（利用者）の声を届けることが必要なのかもしれない。他の公共施設でも、同様の対応していただければと思う。

大人向けの朗読があればという意見については、私も同感である。図書館の講演で取り扱うテーマは、文学や歴史が多いため、健康やスポーツ等の身近なジャンルを取り扱ってもいいと思う。岐阜協立大学には、健康や医療関係に精通した関係者もいると思われるため、そうした方へ依頼すれば、地元の教育機関との連携にもつながるのではないか。

(委員)

事業計画案を見ると、図書館は、子ども向けの事業が多いとあらためて感じる。私の小学校にも本の好きな児童が多くいるが、そうした児童は、学校図書室だけにとどまらず、市立図書館へも行っている。学校の図書館まつりで、「お楽しみ袋」による本の貸出をしてもらえらしいが、そのあたりを教えていただきたい。

(事務局)

図書館で「お楽しみ袋」を準備し、配本用のコンテナで学校へ届けている。そのときに市川里美さんの世界地図などもセットにして、展示をさせてもらうこともあった。貸出冊数については、各学校の規模や要望に応じて相談させてもらっている。

(委員)

青墓小では、図書館委員の児童が「お楽しみ袋」の真似事として、テーマごとに集めた本を新聞紙でラッピングした「お楽しみ本」が好評である。青墓小は、市川里美さんのお膝元であるが、図書館の仲介により市川さんを学校にお招きした時は、絵本の中の世界が飛び出してきたようなお話をしていただき、児童たちはとても喜んでおり、私自身もうれしかった。

小中学生が調べ学習等をする際には、市立図書館を活用し、多くの本を借りているので、そうした活動なども校長会で報告していきたい。

(委員)

コロナ禍で中止されていた行事も少しずつ戻りつつあるが、オンライン併用での講座開催は、良い取り組みだと思う。まだ図書館へ行くことを躊躇している人もいるとは思いますが、今後も利用者の立場に立った図書館サービスや各種行事を期待したい。

4 報告(1) 令和5年度図書館の利用に関するアンケート調査の実施について



(会長)

アクアウォーク大垣内（大垣駅北市民サービスセンター）の図書返却ポストに関して、利用状況はどのようになっているのか。

(事務局)

週に3日、定期的に返却本の回収をしているが、多い時には100冊以上の返却本があり、ポストから溢れてしまう時もある。返却本が多い時は、市民サービスセンターから連絡を受け、定期回収の日以外でも随時回収に行くことがある。返却期限を過ぎた本が入っていることもあり、図書館以外で返却できる場所を提供したことにより、休館日や閉館時間帯に利用される方も、一定数いると分析している。当初の想定よりも多くの方が大垣駅北市民サービスセンターの図書返却ポストを利用している状況となっており、その波及効果なのか、本の延滞も若干減っている傾向にある。

(会長)

アクアウォーク大垣内（大垣駅北市民サービスセンター）に設置した図書返却ポストの利用状況が好調なのは、ありがたいことである。ショッピングセンター内という場所柄もあって、返却しやすい便利な場所に設置されているため、もっと宣伝していただくと良いと思う。

図書館の利用に関するアンケートは、高齢者層の回答が毎回多くを占める。難しいかもしれないが、若年層の声や思いをもっと聞き、年齢層を全体で平均化できれば良いと思う。若年層の声が図書館サービスに反映されれば、若年層の図書館の利用拡大にもつながると思う。

5 その他（全体を通しての意見など）



（委員）

図書館ホームページで本の検索をする際、タイトルや著者名を正確に入力しないと「該当資料はありません」と表示されるため、多少あいまいな検索でも候補が表示されるようになればいいと思う。

（事務局）

図書館システムを更新するとき、請負業者に対して、あいまい検索にも対応できるシステムにできるよう要望したい。

（会長）

あいまい検索に対応できれば、入力したワードが完全一致しなくても、タイトルや著者名の候補が表示され、絞り込むことができる。来年度の図書館システムの更新はちょうど良い機会なので、そうしたシステムに対応できるように配慮していただければありがたい。

閉会 16:10